

令和5年度 第1回下野市地域自立支援協議会 議事録

日 時 令和5年5月17日(水) 午後1時30分から午後3時40分

場 所 下野市役所203会議室

出席者 委 員 : 別紙名簿参照

欠席者3名 野原委員、粥見委員、水本委員

アドバイザー: 大嶋コーディネーター

事 務 局 : 社会福祉課障がい福祉グループ 北野、増淵、上野(早)、上野(大)

障がい児者相談支援センター 小川、手塚、鈴木、福田

傍聴人 なし

審議内容 (原則として発言委員名を明記し、発言の要点のみを記載している。)

第1部 全体会 午後1時30分から午後2時30分

1. 開 会

社会福祉課 仙頭課長

欠席報告 野原委員、粥見委員、水本委員

2. 委嘱状交付

江連副市長より委員を代表して藤田委員に交付

3. 副市長あいさつ

4. 自己紹介

5. 会長及び副会長の互選

会 長: はくつる会 鱒淵委員

副会長: 小山富士見台病院 鈴木委員

6. 会長・副会長あいさつ

7. 議事

議事録署名人に藤田委員・鈴木委員を指名し了承。

(1) 会議運営に関する確認事項、下野市地域自立支援協議会の構成と役割
(事務局)

資料1-1、1-2、1-3に基づき報告。

(2) 下野市地域自立支援協議会 令和4年度事業報告および事業報告及び令和5年度事業計画

(事務局)

資料2-1、2-2に基づき報告。

(3) 障がい者優先調達 令和4年度実績報告および令和5年度推進方針

(事務局)

資料3-1、3-2に基づき以下のとおり報告。

・エコキャップ分別の作業を各施設に協力いただき増やすことができた。印刷物については発注量の大きな変更はないが、単価が高くなったため実績額も増加している。お茶・パンについては姿川クリーン作戦、選挙等での飲み物の発注が増えたことにより実績も増えている。

・新型コロナウイルス感染症が落ち着きつつあり、以前の状況を取り戻してきてはいいるが、敬老会は実施内容の見直しがあり式典の実施がなくなったことにより記念品等の発注が見込めない状況、また保育園の民営化によりパンの発注も減ると思われる。コロナ以前のような目標額の設定は難しいが、令和4年度実績を踏まえ、各施設に協力をいただきながら昨年度目標額から10万円増額した。

➤山城委員

魅力的な製品を作って、SNS等で発信をすることで売上をともに伸ばしていきたいと考えている。

(4) しもつけしハートフルプラン 令和4年度評価および第7期計画

(事務局)

資料4-1、4-2、4-3に基づき以下のとおり報告。

・精神障がい者の共同生活援助利用者数は目標値30人のところ現状が35人となっているが、その他についてはコロナで病院に出向いて活動することができなかった現状がある。

・第5次障害者基本計画の各論の中で、「1.差別の解消、権利擁護の推進及び虐待の防止」「5.行政等における配慮の充実」「10.文化芸術活動・スポーツ等の進行」が第4次障害者基本計画から上位に記載されている。

➤鱒淵会長

就労支援等の数字を増やしていくことは必要なことであり、計画について検討していかなければならないことについて、責任をもって行いたい。

➤野中委員

障がいも多様化している中で、実態にあわせた、豊かな生活を送ることができる進

路先はどこのサービスなのかということを考えながら進路指導を行っている。

(5)下野市障がい児者相談支援センター 令和4年度業務実績および令和5年度計画
(事務局)

資料5に基づき以下のとおり報告。

- ・ひきこもりについては今年度から社会福祉課に地域共生グループができ、そちらで相談会等動いていくことになる。
- ・コロナ禍だから増えているというケースは特にはないが、発達障がいのケースが増えているのは、発達障がい自体の認知度が上がっていると思われる。

➤小林委員

障がい児者の方はコロナにより外に出ることを躊躇したりするのではないか。また、ひきこもりの方も同様にコロナにより外出しにくかったり生活しにくかったりするのではないか。

➤事務局

ひきこもりの件数は増えている印象はあるが、コロナの影響とは言えない状況である。例えば精神障がいをお持ちの方で、コロナが流行りだした時期に外出に不安を覚え、通所先に行けないという話は聞いた。

(6)障がい福祉サービス等の情報提供
(事務局)

資料6に基づき報告。

(7)その他
(事務局)

無し

第2部 部会 午後2時40分から午後3時40分
各部会に分かれ、部会協議事項に沿って検討、協議。

8. 閉会

議事録署名人 _____
